

令和2年7月27日 27

伊勢原市協働事業完了報告書

伊勢原市長 殿

住 所 伊勢原市板戸405
団体名 はたふらい(Butterfly)
代表者氏名 長塚 純子

令和2年6月23日付けで協働事業採択決定通知を受けた事業が完了しましたので、伊勢原市市民協働事業提案制度実施要綱第14条の規定により、関係書類を添えて次のとおり報告します。

1 協働事業の成果

協働事業名	緊急企画 「生きづらさを抱える人のフロイネームでの『働く』とは？」
事業費総額	18500 円
事業期間	自 2020 年 7 月 11 日 至 年 月 日
実施場所	伊勢原市中央公民館（主催者発信場所） Zoomにてオンライン配信（参加者）
参加者数	のべ 34名
事業実施内容及びその成果	生きづらさを抱える精神疾患当事者のフロイネームでの影響、及び一般就労中での変化についてのお話と、ミニ講座として、「身体を動かすことの大切さ」についてのお話。又、お話しに対しての質疑応答。 周知期間が短く、かつオンラインでの実施だったのににもかかわらず、79歳の方にご参加頂き、市内の方の割合も高く、協働事業に於ける成果があったと考える。

2 添付資料

- (1) 伊勢原市協働事業収支決算書（第8号様式）
- (2) 協働事業の実施に要した費用の領収書等の写し
- (3) その他市長が必要と認めるもの

緊急企画型プロジェクトを抱える人のプロジェクトの強みとは？ 事業評価シート

段階	評価項目
準備段階	1. 協働が開始された段階はいつからか ☒ 企画の段階から ☐ 実施段階から ☐ その他 () 2. 協働の呼びかけはどちらからか ☒ 市民活動団体 ☐ 市 ☐ その他 () 3. 協働で行う意義は明確だったか ☒ はい ☐ いいえ 意義 [] 4. 事業の目的は明確だったか ☒ はい ☐ いいえ 目的 [] 5. 事業の目標（何がどのような状態になることを意図しているか）は明確だったか ☒ はい ☐ いいえ 目標 [] 6. 相互理解は十分だったか ☒ はい ☐ いいえ 理由 []
実施段階	7. 協定書作成にあたって十分協議したか ☒ はい ☐ いいえ 理由 [] 8. 事業運営上の役割分担は適切だったか ☒ はい ☐ いいえ 理由 [] 9. 進捗状況や情報を共有できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由 [] 10. 実施プロセスの記録は残せたか ☒ はい ☐ いいえ 理由 [] 11. 互いの特性を活かすことができたか ☒ はい ☐ いいえ 理由 []
終了後の段階	12. 事業内容の報告を作り、公開できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由 [] 13. 目的・目標は達成できたか ☒ はい ☐ いいえ 理由 [] 14. 今後の課題と改善策を話し合ったか ☒ はい ☐ いいえ 理由 [] 15. 総合的に見て事業に対する満足度は 【 5 ④ 3 2 1 】 理由 [] 16. その他、気づいた点